



2022年5月25日

報道関係者各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会

新会長就任のお知らせと第8期活動方針

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協(CJK))は、2022年5月25日より細野雅信(ミサワホーム株式会社 常務執行役員 建設・CS本部 副本部長)が新会長に就任いたします。新たな体制下で、本協議会の活動が、住まい手のより豊かな住生活への実現に貢献するとともに会員各社および住宅関連産業の拡大へとつながるよう推進してまいります。

【新会長挨拶】

当協議会は、経済産業省の研究会提言を基に住宅部材・部品の標準化推進団体として2008年7月に発足し、2022年で設立から14年となります。当協議会の活動は長期にわたって住宅のメンテナンスを容易にする為に、部材・部品の寸法等を標準化することを目的としており、基準に適合するものは長期使用対応部材(CJK 部材)として登録し、標準化した品目は既に120を数えるまでになっています。2021年3月に閣議決定された新たな「住生活基本計画」では「住宅ストック・産業」の視点として「脱炭素社会に向けた住宅循環システムの構築と良質な住宅ストックの形成」を目標とし、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた施策が謳われています。



第8期を迎えた今期はこの住生活基本計画及び持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた2030年迄の新たなロードマップ(中期事業推進計画)を策定いたしました。初年度である今年には会員の拡大、会員企業内でのCJK部材の採用率向上はもとより住宅関連業界団体との連携を更に強化するとともに、ネットとリアルの両面から一般消費者へ向けての認知度向上を図りCJK部材の普及拡大に取り組めます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大及び2022年2月からのロシアのウクライナ侵攻により、世界市場及び住宅業界の先行きは一部不透明な状況ではありますが、当協議会は今後も長期にわたる住まい手のご満足と会員各社の発展と共に、持続可能な社会の実現に寄与することを目指して活動推進して参ります。

経済産業省、関係各位におかれましては、引き続き更なるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期使用住宅部材標準化推進協議会

第8期会長 細野 雅信

ミサワホーム株式会社 常務執行役員 建設・CS本部 副本部長

【中期事業推進計画2030】

1. 長期使用対応部材の標準化の推進 (SDGs 目標 11,12,13)
2. 長期使用対応部材の普及拡大と定着 (SDGs 目標 11,12,13)
3. 関係団体並びに研究機関等との連携 (SDGs 目標 9,17)

2030年目標(2031年3月末までに)

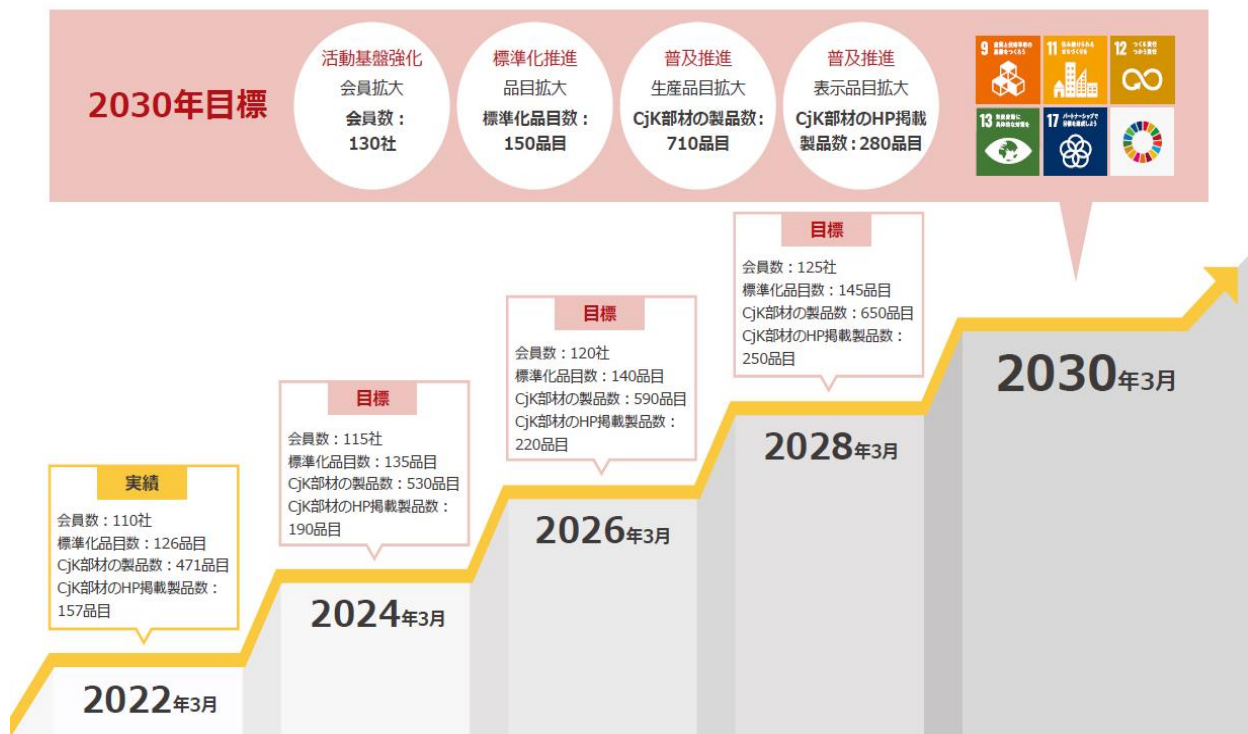
- ①会員拡大:会員数 130社
- ②品目拡大:CJK部材の標準化品目数 150品目
- ③生産品目の拡大:CJK部材の製品数 710品目
- ④表示品目の拡大:CJK部材のHP掲載製品数 280品目

【第8期 活動方針】

2024年3月末までに、

1. 協議会活動基盤の強化(会員企業 115社)
2. 標準化の推進(CJK部材の標準化 135品目)
3. CJK部材の普及推進(生産品目の拡大:CJK部材の製品数 530品目)
4. CJK部材の普及推進(表示品目の拡大:CJK部材のHP掲載製品数 190品目)

長期使用住宅部材標準化推進協議会 中期事業推進計画2030



長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協)について

本協議会は、経済産業省の研究会の提言に基づき、住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立され、大手住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーが一堂に会し、住宅を長く住み継ぐために不可欠なメンテナンスを容易にするため、住宅部材の標準(共通)化を推進する事を目的として活動しております。(<https://www.chojukyo.jp/>)

〔本件に関するお問い合わせ先〕

長期使用住宅部材標準化推進協議会 事務局 ミサワホーム(株)大野 昭治

Tel:070-1260-1058 Mail:cjk@chojukyo.jp

定休日:水・土・日・祝 受付時間:10時～17時

【参考資料】

第7期(2020年～2021年)実績

1. 会員数は、会員企業各社の告知活動や団体に向けた本協議会活動の説明、CJK 基準書作成協力の依頼によって2年間で10社が新規入会しました。この結果、会員数は110社となりました。(2021年度末の目標125社)
2. 長期使用対応部材として2年間で22品目を標準化しました。総数は2021年度末の目標品目125品目に対し、126品目となりました。
3. 基準書に適合する部材情報のホームページ掲載を推進し、18品目を掲載しました。この結果、2021年度末の掲載品目数は74品目となりました。(2021年度末の目標65品目)
また、本協議会及びCJK部材をご紹介する動画を制作するなど、認知向上と普及推進に取り組みました。
4. 本協議会の認知拡大を推進しました。また、住宅関連業界団体との連携の継続を通じて、CJK部材の普及推進に取り組みました。
 - (1)本協議会の活動やCJK部材の事例を紹介した動画を制作、公開。
 - (2)本協議会の事業を住宅関連業界団体が発行する機関誌やホームページ等に掲載。
 - (3)CJK部材の拡大にむけ、住宅関連業界団体と連携し、CJK基準書を作成。

■2021年度:審査・承認・登録したCJK部材(10品目)

※2021年度末 126品目

新規

内部レバーハンドル(長座タイプ)	高所用金属製ボールチェーン
カーテンレール	タオル掛け(浴室用)
オーバーフロー管ストレーナーキャップ	棟換気部材
洗面化粧ユニット用排水管接続部材	アルミ勝手口ドア用レバーハンドル
カーテンレール用ブラケット	浴室壁付照明

改訂

内部収納用金属製ハンガーパイプ(丸型)	内部サムターン座
内部収納用金属製ハンガーパイプ(楕円型)	内部ラッチ受け
カーテンレール用キャップストップ	内部レバーハンドル(長座タイプ)
カーテンレール用ランナー	サッシ網戸用網押さえゴム(突起有)
内部レバーハンドルケース錠	サッシ網戸用網押さえゴム(突起無)
内部開き戸用調整機能付き丁番	サッシ網戸用樹脂製網
内部レバーハンドル	

■2021年度:新規入会した企業(2社)

※2021年度末 110社

(正会員数27社、賛助会員数83社)

正会員	(株)ヤマダホームズ
賛助会員	(株)タブチ

■2021 年度:ホームページでの基準書適合部材情報の掲載(14 品目掲載)

※2021年度末 74 品目

内部部材	内部収納用金属製ハンガーパイプ(丸型)、内部収納用金属製ハンガーパイプ(楕円型)、内部洋開き戸用ドアストッパー(埋込型)、フローリング(直張用)、内部収納用金属製ハンガーパイプ(丸型)用受金物、内部収納用金属製ハンガーパイプ(楕円型)用受金物
外部部材	樹脂複合勝手ロドア用本締錠、樹脂複合勝手ロドア用レバーハンドル錠、樹脂複合勝手ロドア用レバーハンドル空錠、屋外用たて引きストレーナーキャップ、トップライト(勾配屋根用)、屋外用よこ引きストレーナーキャップ(排水溜め部なし)、トップライト(フラット屋根用架台設置タイプ)、屋外用よこ引きストレーナーキャップ(排水溜め部あり)

■本協議会及び CJK 部材をご紹介します動画

- ・「CJK 部材の事例1(内部レバーハンドルケース錠)編」(公開日:2021 年 3 月 31 日)
- ・「長期使用対応部材(CJK 部材)とは」(公開日:2021 年 3 月 31 日)
- ・「長住協の活動」(公開日:2022 年 3 月 8 日)
- ・「CJK 部材の事例2(屋根瓦)編」(公開日:2022 年 3 月 8 日)

※本協議会ホームページ内「動画ライブラリー」

<https://www.chojukyo.jp/movie.html>